

2012 年 10 月 27 日実施

最先端・次世代研究開発支援プログラム研究者が語る 第2回 3大学主催連携公開講演会
「グリーン・ライフイノベーションへの材料研究最前線」来場者アンケート 単純集計結果

2013 年 2 月 13 日

集計担当：東京工業大学「国民との科学・技術対話」推進チーム 天元志保（教育研究支援員）

※ この結果は、サイエンス・コミュニケーションをご専門とする東京工業大学の西條美紀教授と川本思心特任助教にご協力いただき、東京工業大学が製作したアンケート・ツールによって得られたものです。科学技術振興機構 社会技術研究開発センターの研究開発プログラム「21 世紀の科学技術リテラシー」における採択課題「科学技術リテラシーの実態調査と社会的活動傾向別教育プログラムの開発」（平成 18 年 12 月～平成 21 年 11 月、研究代表：西條美紀教授）の成果の一部を元に、回答者を簡易版科学技術リテラシークラス分析によって分類しています。

■日 時： 2012 年 10 月 27 日（土）13:30~16:45

■場 所： 大阪大学中之島センター・3 階多目的ホール 2

■講演者1： 吉見享祐 准教授（東北大学大学院環境科学研究科）

■演 題1： 超高温エネルギー変換への材料研究最前線

■講演者2： 細田秀樹 教授（東京工業大学精密工学研究所先端材料部門）

■演 題2： 血管の病気を治す材料研究最前線

■講演者3： 御手洗容子 グループリーダー（物質・材料研究機構構造機能融合材料グループ）

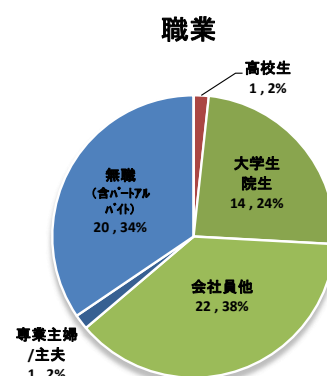
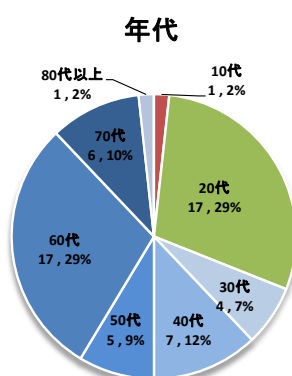
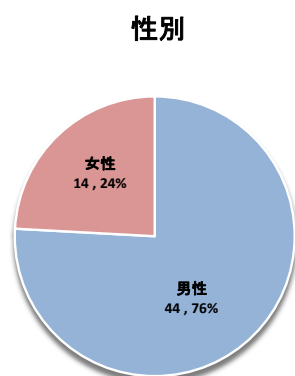
■演 題3： 形を記憶する機能材料研究最前線

■講演者4： 中野貴由 教授（大阪大学大学院工学研究科）

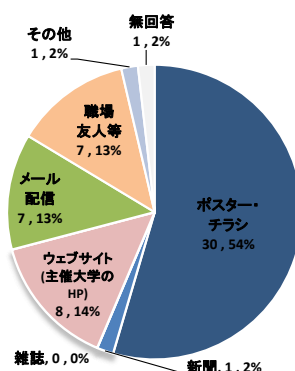
■演 題4： 人工関節・骨代替への材料研究最前線

■回収率： 92.1%（参加人数：63 人，回収数：58 票）

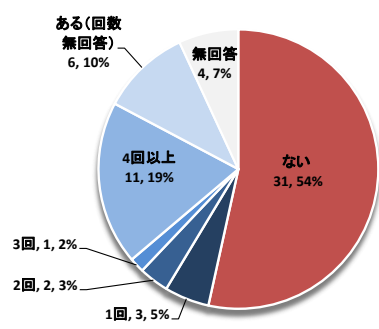
■回答者の基本属性



何をご覧になって
今回の講演会に参加されましたか



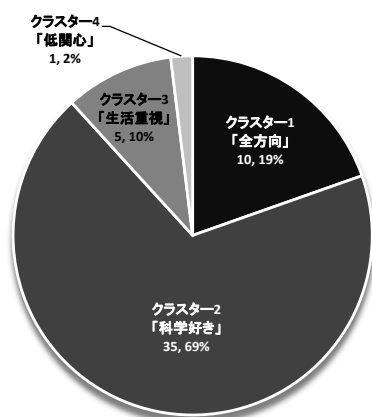
今回以外に今回の講演者が開催する
講演会に参加されたことはありますか



■回答者の関心・態度傾向（科学技術リテラシー傾向）

【解説】

科学技術リテラシー
(科学技術と社会に対する関心・態度の傾向別タイプ)



このグラフは、10 項目の回答パターンから、回答者の科学技術と社会に対する関心・態度の傾向を 4 つのクラスターに分類したものです。日本全国規模で行った調査（下記参照）と比較すると、本講演会の回答者は「科学好き」が非常に多い傾向がありました。

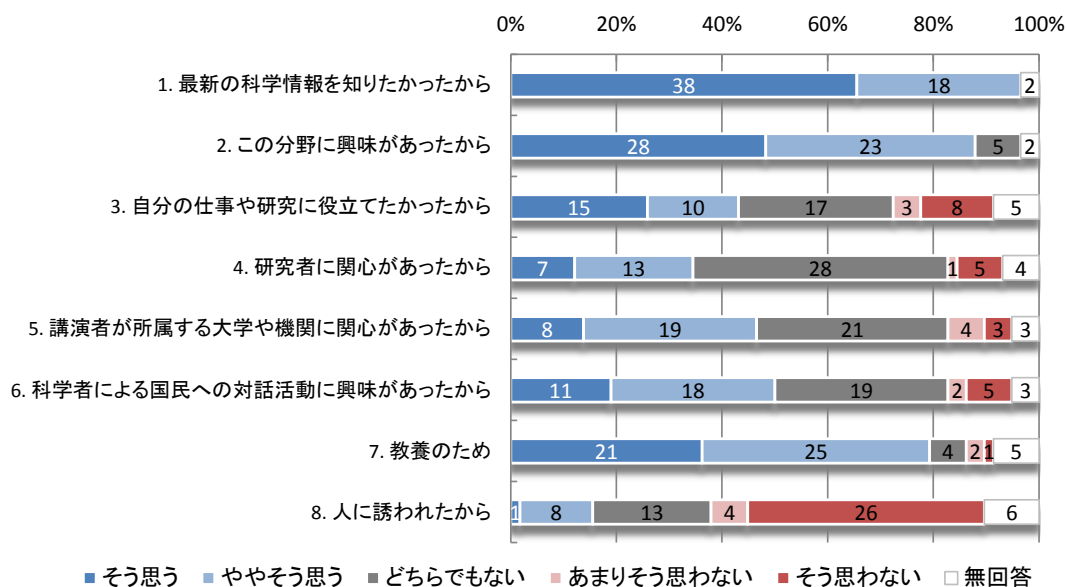
日本全国規模の調査での各クラスターの割合および各クラスターの特徴

クラスター1 「全方向」	26.4%	科学技術への興味や価値意識が強く、社会的な参加意識も高い人々。何事にも肯定的・楽観的
クラスター2 「科学好き」	21.1%	科学技術への興味は強いが、価値意識や社会参加意識は低い。懐疑的な傾向。比較的若い男性が多い
クラスター3 「生活重視」	34.3%	科学技術は苦手だが、社会的な興味は高い人々。女性が多く、リスクに対して敏感な傾向がある
クラスター4 「低関心」	18.1%	科学技術への興味や価値意識が低く、社会的な参加意識も低い人々。若年層がやや多い傾向

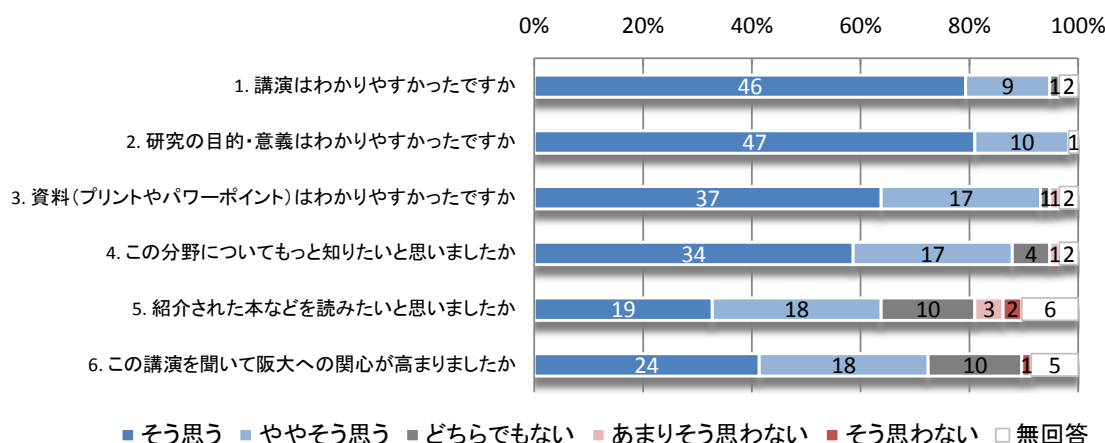
出所: Kawamoto et al., "A survey of scientific literacy to provide a foundation for designing science communication in Japan" Public Understanding of Science (2011.10)

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 研究開発プログラム「21世紀の科学技術リテラシー」「科学技術リテラシーの実態調査と社会的活動傾向別教育プログラム」の開発（平成 18～21 年、研究代表：西條美紀）による研究成果

■来場の目的



■中野先生の講演に対する感想



■意見・感想（自由記述）： 記入率 37.93%（記入票数： 22） ※他講演者に対する記述回答を含む。

- 非常に興味深い話が多く、楽しく感じた。今後もうこういうイベントが行われることが楽しみに感じた。
（20 代男性）
- QOL 向上を目指した未済の技術の基をなる最先端の研究について聴くことができ、有意義な時間となりました。（20 代男性）
- どの講師の方々も軽妙な語り口で自分の研究に対して話を展開していたので非常に取っ付きやすく感じました。（20 代男性）
- 医学的な内容や形状記憶合金など金属分野について専門的な内容というよりも初心者でもわかりやすい構成になっていて理解しやすかったです。ただ、もっと踏み込んだ内容についても知りたいと思ったため「とっかかり編」と「応用編」の二部構成になっていると更に有意義なものになると思いました。
（20 代女性）
- 吉見先生のお話に間に合わず申し訳ありませんでした。全体的に大変興味深いお話でしたが、特に身近な骨のお話は聞き入りました。ありがとうございました。（30 代女性）
- プレゼン資料ですが、もう少し絵などがあってもよいのではないかと思います。（30 代女性）
- 若い人（高校生）が少なかったのが残念。（40 代男性）
- わかりやすかった。（40 代女性）
- いつのものように岩崎さんのツッコミを入れながら…の方が理解しやすかったです。贅沢な時間をありがとうございました。（40 代女性）
- 材料は技術工学のベースであることがよく分かりました。（50 代男性）
- 大変だと思いますが、先生方も言われていたように、研究されていることを国民に知らせる機会を増やしてほしい。日本の技術力は、研究力は捨てたものではないと感じた。（50 代男性）
- 現在の医療やエネルギーに待ったなしの研究の数々、とても関心高く拝聴いたしました。今後の臨床や実用化が待ち遠しく思われました。レジュメが無しのため、書き写しには限度があり、少し大変な思いをしつつ書き写しました。学生に戻った様でした。（50 代女性）
- 形状記憶合金の話が 2 件ありましたが、大変興味深かった。今回の事例以外にもたくさんの可能性を秘めていると思いますが、他の事例にどのようなものがあるかということに関心があります。（60 代男性）
- 御手洗先生の喋り方が速すぎる。（60 代男性）
- 非常に分かりやすく、話された分野にさらに興味がもてる様になりました。（60 代男性）
- このような催しをどんどん続けていていってください。有難うございました。先生方の熱意が感じられ感動しました。（60 代男性）
- 最先端情報をありがとうございました。（60 代女性）
- 最新の材料科学について平易なお言葉で解説いただき知的好奇心を満たすことが出来ました。よい機会をいただき、ありがとうございました。（60 代男性）
- ありがとうございました。（70 代男性）
- みなさんの意識を頼もしく感じました。企業にもっと認識させる努力をさらにして下さい。企業の人達は学問に不感性の人が多いのでそれを解消すべく刺激を与えてやって下さい。（70 代男性）
- スライドの資料も配ってもらえるとより…。（70 代男性）
- ②と③の講座が少しダブっている感じを受けた。しかし②のテーマについては今後非常に楽しみである。
（70 代男性）

■今後希望するテーマ・分野（自由記述）： 記入率 51.72%（記入票数： 30）

<総合・新領域系>-----

総合領域分野：

- ・ 情報（工）学
- ・ 感性（情報）工学
- ・ 生体材料
- ・ 科学哲学
- ・ 脳科学の最近の知見、脳の仕組みと記憶（3名）

複合新領域分野：

- ・ ナノ技術

<人文社会系>-----

人文系分野：

- ・ 宗教文化論
- ・ 美学

<理工系>-----

数物系科学分野：

- ・ 天文学
- ・ 物理学
- ・ 数学（2名）

化学分野：

- ・ 高分子
- ・ 非金属科学
- ・ 超電導物質の開発状況と利用の可能性と社会へのインパクト

工学分野：

- ・ 金属材料
- ・ 温度が上がると形状記憶合金の回復率が下がる原因と対策
- ・ 構造材料
- ・ 界面化学
- ・ 表面科学
- ・ エンジニアリング・プラスチック
- ・ カーボンファイバー
- ・ 量子デバイス
- ・ 人工光合成関連
- ・ 再生可能エネルギーに関する内容
- ・ 新エネルギーのための研究最前線
- ・ マイクロ発電
- ・ エネルギー関係、核融合など

<生物系>-----

生物学：

- ・ 生物学

医歯薬学分野：

- ・ 医学
- ・ 皮膚再生の最先端情報
- ・ 最近の癌治療について
- ・ アルツハイマー分野
- ・ iPS細胞の利用や再生医療など（8名）
- ・ 最新医療とそのチャレンジしているもの

<その他>-----

- ・ 科学全般
- ・ 宇宙開発事業について
- ・ 期待してしまうことが多いので、これはまだまだムリという現実を教えてください。
- ・ 今後の日本における国際社会での生き残りについて